

IIJ、日米回線を増強

1999年3月2日

株式会社インターネットイニシアティブ(以下IIJ、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 幸一)は、2月24日、日米間の国際バックボーン回線を290Mbpsから445Mbpsへ増強いたしました。引き続き4月を目処に、同国際バックボーン回線は465Mbpsへ増強される予定です。

急激に増大するインターネット・トラフィックを支えるために、IIJでは1994年から約5年間で、2300倍を超える規模の対米回線増強を行ってきました。また、世界最速を誇るIIJの日米回線は、アジア諸国を高速回線で接続するインターネットバックボーンネットワーク「A-Bone」(*)とダイレクトに接続されています。今回の増強により、日本のみならず、アジア太平洋地域と米国間のインターネット通信を支える基幹インフラとしての役割も強化されました。

(*) IIJの関連会社、アジア・インターネット・ホールディング (AIH、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木幸一) が運営

今回の445Mbpsへの増強は、東京－サンノゼ(MAE-WEST)間を45Mbpsから200Mbps (45Mbps+ 155Mbps) に増速することにより実現いたしました。

IIJの保有する日米間国際バックボーン回線 (2月24日現在)

日本側	米国側	回線帯域
東京	San Jose(MAE-WEST)	200Mbps(*)
	Palo Alto(DIX)	155Mbps
大阪	Pennsauken(NY-NAP)	90Mbps
合計		445Mbps

(*) : 今回増強した回線

IIJは、情報基幹インフラとして成長を続けるインターネットを支え、最高のインターネット環境をより多くの方々に提供していきます。

以上